

三愛病院季刊誌

太陽の光が明るくきらきらと輝くさま。
三愛病院が地域の中で燦燦と輝くことを目指して名づけました。



さん さん
燦 燦

医療法人社団三愛会
三愛病院

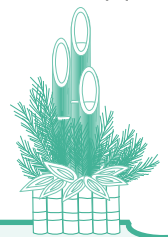
H17.1.15 No.2
発行元：燦燦編集室



アトリウムのイメージ図



経営理念



わが三愛病院は誠実・奉仕・学習をモットーに安全で
患者さん中心の高水準の医療を地域と連携しつつ提供します。



新年のごあいさつ

理事長 半澤 一邦

明けましておめでとうございます。

年末にはタイ・インドネシアを中心に人類が過去に経験したことの無い大津波災害により15万人もの尊い人命が失われました。被災された方々へ心からお悔やみを申し上げます。

地震国であるわが国も他人事ではありません、日頃の備えの大切さを改めて痛感しました。

もっと身近なところでは国は社会保障制度改革のうち、年金改革と介護保険の見直しを終え、いよいよ平成17年度は医療制度改革が行われます。急性期・亜急性期・回復期・安定期の医療の流れの中で、本当の連携とはどうあるべきか？更に介護を「地域」でどのように創り上げていくのか？利用される人々の視点に立って組み立てられる制度改革であってほしいと思います。単に医療費・介護費を節減する目的のみで二頭立ての馬車のように国民が今の公的保険とは別に新たな民間医療保険に加入しなければならないような改革が検討されていますが、あまりにも国民に負担を強いるのみの制度改革ではないかと心配されます。

さて、当院の「地域医療連携室」も活動をはじめて6ヶ月を経過しました。地域の先生方のご指導を受けながらようやく受療者の方々にも喜ばれつつあります。今後もより活発に、身近な存在を目指していきたいと思ひます。よろしくお願ひいたします。



年頭に



院長 堀 重昭

年末年始はスマトラ沖巨大地震とインド洋大津波のニュースで持ちきりでした。私もあの津波に襲われ、きれいさっぱり何もなくなった海岸の映像には慄然としました。

ひるがえって、わが国の医療界にも厚労省を震源とする医療改革という名の津波がすでに何波も押し寄せていますが、その被害をもっとも受けるのは中小の病院で、このままだと根こそぎ消滅する恐れすらあります。

建築中の新三愛病院は基礎鉄骨がほぼ組み上がり、その姿は敢然と荒波に立ち向かう頼もしい防波堤のようにも見えます。しかし、いかに立派な建物も生命の息吹がなければただのガランドウです。

三愛病院にとって今年は医療改革を乗り切る最大の試練の年になると思ひます。

みんなで個性を発揮し、スクラムを組んで新病院に生命を吹き込みましよう。

医師紹介



右記3名の先生方が赴任しました。宜しくお願ひ致します。



新谷文彦 Dr.

消化器外科 平成16年10月～

生年月日：昭和36年9月23日

出身大学：熊本大学医学部

趣味：テニス、ゴルフ（下手ですけど……。）

ひとこと：微力ながら大分の地域医療に貢献したいと思ひます。



衛藤大明 Dr.

外科全般 平成16年11月～

生年月日：昭和49年7月29日

出身大学：金沢医科大学

趣味：わさだタウンに行くこと

ひとこと：笑顔でがんばります。



石川博人 Dr.

消化器外科 平成17年1月～

生年月日：昭和43年7月5日

出身大学：久留米大学医学部

趣味：温泉に入ること

ひとこと：一生懸命頑張りますので宜しくお願ひ致します。

看護部長 小出 好子

看護部は、保健師・看護師・准看護師・介護福祉士・看護助手からなる職種144名で日々患者様の一番身近な所から看護・介護の提供を行っています。私たちは病める患者様の視点で24時間安定した質の良い看護の提供を目指し、『医療チームの一員として患者・家族・地域の人々に安全で質の高い看護を提供する』を看護理念として掲げ活動をしています。

ナイチンゲールは「全ての病気はその経過のどの時期をとっても程度の差こそあれ、その性質は回復過程である」と述べています。患者様の一人ひとりの回復過程に手を差し延べ、今解決したい問題を明らかにして共に解決方法を見出し、次の闘病意欲に繋げてゆきたいと活動しています。回復過程の患者様の欲求は、個別性がありさまざまです。だから、私たちは患者様の生活の視点で、日常生活まで目を向けながら病気との闘い方を教えていくことが大切と考えています。看護のご提供は患者様の思いと、看護の専門性が一致してこそ満足を得るものであり、押し付けや強制では決して効果的な看護の提供は期待できません。患者様の声をお聴きして患者様と共に病気と闘って行きます。

共に病気と闘うとき、正確な技術・知識は申すまでも無く、やはり心を添え、心の通う温かさのある看護の提供にこそ技術・知識が生きてと思っています。

そして地域の皆様から信頼され、地域の中核病院となり「あの病院に行けば大丈夫」といわれる病院になれるよう日々研鑽していきます。



看護部では理念に掲げている「安全・質の高い看護」を提供するため、一人ひとりが余暇を利用して院外研修などに参加し、自己研鑽に努めています。看護師以外に糖尿病療養指導士・認定呼吸療法士・救命救急士・ケアマネジャー・一次救命処置・二次救命処置の訓練を受け救急現場に対応できる看護師・感染予防対策・医療事故防止対策・褥瘡予防対策などの学習会に参加して質の良い安全な看護の提供に活躍をしています。



dd

三愛病院までの交通手段



自家用車で来院される場合

- 大分市内(大分駅)より車で30分
- 庄内町より車で40分
- 野津原より車で10分
- 大分自動車道光吉ICより車で10分
- 佐賀関より車で60分
- 別府より車で60分

公共交通機関(バス)を

- 下芹バス停下車 徒歩 1分
- 庄内町から
- 木の上經由大分県庁前行きをご利用ください。

グループ施設

- 三愛病院**
〒870-1151 大分市大字市566-3
TEL 09541-1311 FAX 09541-5218
- 庄内診療所**
〒879-542 大分郡庄内町大字柿原字原280番1
TEL 09582-3600
- のつはる診療所**
〒870-120 大分市大字野津原906-1
TEL 09588-1311
- 介護老人保健施設 わさだケアセンター**
〒870-115 大分市大字市宇大坪11番地の2
TEL 09541-1470
- わさだ訪問看護ステーション**
〒870-115 大分市大字市宇大坪11番地の2
TEL 09541-7007(わさだケアセンター内)
- 大分市在宅介護支援センター わさだ**
〒870-115 大分市大字市宇大坪11番地の2
TEL 09541-1470(わさだケアセンター内)
- 特別看護老人ホーム そうだ藤の森**
〒870-112 大分市大字寒田202番地
TEL 09567-8822



12月16日、第12回クリスマス会が行われました。クリスマスソングにのせて、各病棟へサンタクロースがまわる毎年恒例のキャンドルサービスに始まり、職員による心のこもった手作りのケーキやポプリが患者様へ贈られました。2部は、外来ホールにて、ラ・フローラさんによるクリスマスソング等のコーラスやエレクトーン演奏、藤原教室さんによる色とりどりの衣装を身にまとった華麗なフラダンスがあり、思わず口ずさんでいる方や歌に合わせ指揮をとっている方などの微笑ましい姿も見受けられました。そして、さらに今年は新たに藤原教室の皆様が、ひょっとこ踊りも披露して下さい、会場を爆笑の渦で沸かせてくれました。日頃ベッド上の生活を余儀なくされている患者様達にとって、良い気分転換となり、楽しいひとときを過ごせて頂けたのではないかと思います。現在の建物で行う最後のクリスマス会でしたが、職員とボランティアの方々によって盛大なものとなりました。移転後は、今までの良い伝統を受け継ぎつつ、さらにパワーアップした、地域の方々にもたくさん来ていただけるようすばらしいクリスマス会にしていけたらと思います。



患者さんのための知恵ぶくろ

リハビリテーション部 志賀 辰三

近年、生活習慣病の予防とともに注目を浴びてきているものに“転倒予防”があります。地域に在住する高齢者における転倒の年間発生率は概ね20%程度であり、そのうちケガを伴う転倒は概ね7%程度という調査結果が出ています。転倒によるケガで代表的なものとして大腿骨頸部骨折（ふとももの骨の付け根近く）があり、最近では手術の進歩により手術後の早い時期から動いたり、歩いたりすることができ寝たきりになることは以前よりも減ってきたのではないかと考えます。とはいえ転倒後のケガにより生活が制限される可能性は非常に高く、転ばないにこしたことはありません。

さて、それでは転びにくくするためにはどのようにしたらよいのでしょうか。その方法の一つとして、常日頃から足の運動を行うことです。今回はパート として自宅のできる簡単な運動をご紹介します。



片方の脚を後ろに下げ、足の裏をピッタリと床につけふくらはぎを伸ばす。15秒間止めてひと休み。（1度に10回）



床にタオルを敷いて、タオルの先に1kgほどの重り（砂糖等）をおいて、足の指でタオルをたぐりよせる。（1度に3回）

第11回院内研究発表会開催

三愛会院内研究会実行委員長 橋爪 信浩

第11回院内研究発表会が平成16年11月18日（木）に特別養護老人ホーム・そうだ藤の森で開催されました。三愛会の各グループ施設より、12題の発表がありました。いずれの演題も日常医療に関係する素晴らしいものであり、医療への真摯な思いを強く感じました。これからも三愛グループ一丸となって日々研鑽していきたいと思います。優秀賞は整形外科：園田広典医師、療養病棟：成安桂子看護師、外科病棟：佐田正美看護師でした。今回は3位と4位の評価点数が僅差でしたので奨励賞として、わさだケアセンター：大島和也介護士を表彰いたしました。皆さん、おめでとうございます。発表された演題名、演者は下記の通りです。

| セッション1 | | 座長 | 外科 | 新谷文彦 | セッション2 | | 座長 | 内科 | 川野英章 |
|------------|----------|-----------------------------|----|------|-----------|-------|-------------------------|----|------|
| 発表者 | | 演題 | | | 発表者 | | 演題 | | |
| 薬剤部 | 平岡優子 | リスクマネジメントへの取り組み | | | 内科病棟 | 甲斐由美 | ノルウェー疥癬におけるチームケア | | |
| ケアセンター | わさだ 奈須郁子 | 介護予防教室を開催して | | | わさだケアセンター | 大島和也 | 通所リハビリテーションにおける個別リハ | | |
| 外科病棟 | 佐田正美 | 口鼻腔吸引チューブの放置時間と細菌の繁殖の関係性 | | | 療養病棟 | 成安桂子 | 高齢者看護におけるメンタルケア | | |
| 介護福祉士 | 伊藤浩治 | 医療従事者に対する高齢患者の攻撃的行動への対応策の検討 | | | 泌尿器科 | 吉本多一郎 | 透析患者にみられた腎顆粒細胞癌の一例 | | |
| リハビリテーション部 | 志賀辰三 | 現役大学生の体力年齢について | | | わさだ訪問看護 | 橋本美枝子 | 在宅で最期を迎えるまでの試み | | |
| のつはる診療所 | 甲斐江利子 | 『らんらんデイケア』の現状報告と今後の課題について | | | 整形外科 | 園田広典 | 当院における大腿骨頸部骨折についての時系列分析 | | |

記念講演 座長 院長 堀重昭

・悪性脳腫瘍の臨床研究

三愛病院脳神経外科部長 河内正人（元熊本大学脳神経外科助教授）

・バイオエナジエティクスと筋収縮

わさだケアセンター施設長 山田和廣（元大分大学医学部生理学教授）



河内先生には最先端の脳腫瘍の治療について、山田先生には筋肉のミクロな世界に誘っていただき大変勉強になり、ありがとうございました。この研究会の聴講はどなたでもできますので、次回からは、近隣の一般市民の方々も奮ってご参加くださるようお願い申し上げます。

工事の進行状況

昨年10月から始まった病院移転工事ですが、ようやく鉄骨が組み概観が分かるようになってきました。職員一同、新病院に向けて期待を抱きながら意欲を持って業務に取り組んでいます。



外 来 担 当 医 一 覧

三愛病院【平成17年1月1日より】

| | | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 |
|-------------------|----|-------|-----------|-------------|-------|----------------|-----------|------------------|
| 外 科 | 午前 | 新谷 | 新谷・(乳腺) | 半澤・新谷 | 新谷 | 半澤・新谷 (乳腺) | 新谷 | 救 急 対 応 |
| | 午後 | | 新谷 | 新谷 | | 半澤・新谷 | | |
| 内 科 | 午前 | 金子・吉田 | 川野・吉田 | 金子・木村 | 金子・木村 | 金子・川野 | 金子・木村 | |
| | 午後 | 木村 | 安東 | 川野 | | 吉田 | 川野 | |
| 循環器科 | 午前 | 麻生 | | 麻生 | | | 直野 | |
| | 午後 | | | | | | | |
| 整形外科 | 午前 | 高木・園田 | 高木・園田 | 高木・園田 | 高木・園田 | 高木・園田 | 泊 | |
| | 午後 | | | | | | | |
| 脳外科 | 午前 | 河内 | 河内 | 河内 | 堀 | 河内 | 河内 | |
| | 午後 | 堀 | | | 堀 | 堀(第2・4週) 河内 | | |
| 泌尿器科 | 午前 | 吉本 | 吉本 | 吉本 | 吉本 | 吉本 | 吉本 | |
| | 午後 | | | | | | | |
| 皮膚科 | 午前 | 橋本(幸) | 橋本(幸) | 橋本(幸) | | 橋本(幸) | | |
| | 午後 | | | 橋本(幸)16:00迄 | | | | |
| 形成外科 | 午前 | | | | | | | |
| | 午後 | | | 橋本(二) | | | 橋本(二) | |
| 眼 科 | 午前 | 伊東 | | 調枝 | | 高木 | | |
| | 午後 | | | | | | | |
| 放射線科 (読影・アンギオ) | 午前 | | 大分大学放射線科医 | | | | 大分大学放射線科医 | |
| | 午後 | | | | | 大分大学放射線科医 | | |
| 透 析 | 午前 | | | | | | | |
| | 午後 | | | | | | | |

午後は手術のため、担当医が不在となることがあります。

全館禁煙のお知らせ

ご来院される全ての皆様に当院の建物内全館禁煙のお知らせとお願いを申し上げます。
 平成15年5月に施行されました健康増進法により、病院などでは受動喫煙
 (タバコを吸っていない方が煙を吸い込んで健康に害を及ぼすこと)の防止対策を求められております。
 また、病院は地域住民・患者の皆様の健康をサポートする立場にありますことから、
 病院建物内全ての場所での禁煙が望ましいと考えますので、
 平成17年1月4日をもちまして病院内全館禁煙とさせていただきます。
 ご来院される皆様方にはこの趣旨をご理解いただき、ご協力をお願い致します。

